

未来を考える

2005 環境報告書

地球への思いやり

琵琶湖を愛する



日本精工株式会社 大津工場

滋賀県大津市晴嵐一丁目16番1号

日本精工の理念

NSKは、MOTION&CONTROLを通じ、円滑で安全な社会に貢献し、**地球環境の保全をめざす**とともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めます。

主な環境自主行動項目

- 地球温暖化防止** ●省エネルギー活動
- 廃棄物対策** ●減量化 ●再資源化
- 省資源** ●資材及び消耗品の削減 ●用水使用量の削減
- グリーン調達** ●環境負荷の小さい製品、部品、材料等の調達
- 法・条例等遵守** ●大気・水質・騒音・振動・悪臭・地盤沈下・土壌汚染等
- 景観向上** ●工場周辺の清掃 ●緑化

日本精工(株)大津工場 環境方針

日本精工株式会社 大津工場は、琵琶湖と山々が連なる水と緑に恵まれた美しい景観の中で、品質と技術に秀でた玉軸受を主として製造する工場です。この豊かな自然と地球環境を保全するため、環境との調和を事業活動の最優先課題の一つと位置づけ、次に掲げる環境活動を推進する。

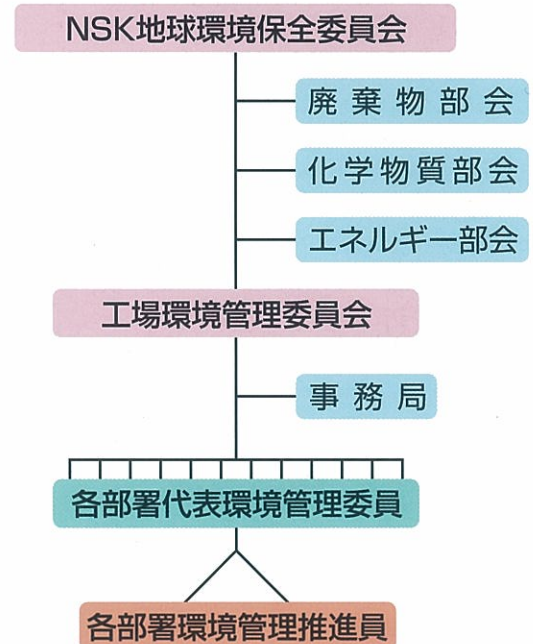
1. **環境汚染の防止** 環境関連の法規制及び条例等を遵守すると共に、技術的かつ経済的に可能な範囲で自主基準を設け、環境汚染の防止に努める。
 2. **環境負荷の低減** 省資源、省エネルギー及び廃棄物の減量化・再資源化を推進し、環境負荷の低減をはかる。又、環境負荷低減型の商品づくりを常に心がけ地球にやさしい製品・サービスを提供する。
 3. **自然環境の保護** 琵琶湖の大切さを認識し、自然環境の向上に努め、地域社会との調和をはかる。
 4. **継続的改善** 環境目的及び目標を定め、又見直し、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスの継続的改善をはかる。
 5. **環境啓発活動の推進** 環境教育、広報活動を通じて全従業員及び関係委託業者に、環境方針を周知させるとともに意識の向上をはかる。
- この環境方針は、要求に応じて、社内外に公表する。

作成・発行 2005年7月1日
日本精工株式会社 大津工場
大津工場長 芝本 英之

環境保全のあゆみ

- 1975 環境管理部設置 (本社)
- 1976 公害防止協定締結
- 1982 環境関連工場規定制定
- 1991 滋賀県環境保全協会環境保全優良事業所受賞
- 1992 滋賀県工場緑化コンクール受賞
- 1993 NSK地球環境保全委員会発足
- 1994 滋賀県環境保全協会地域環境保全功労者受賞
- 1994 環境管理内部監査
- 1995 廃棄物管理内部監査
- 1997 化学物質管理内部監査
- 1997 NSK環境方針制定
- 1997 快適職場推進事業所認定
- 1999 ISO14001取得
- 2000 大津市環境管理実施事業所認定
- 2000 ISO14001滋賀工場統合取得
- 2000 環境保全協定締結
- 2001 滋賀工場環境報告書第1号発刊
- 2002 滋賀工場ゼロエミッション達成
- 2003 滋賀工場研削くず固形機全建屋設置完了
- 2004 ISO14001分割審査 (大津・石部工場)

環境管理推進組織



滋賀工場 環境中期計画

目 標 主な具体的施策

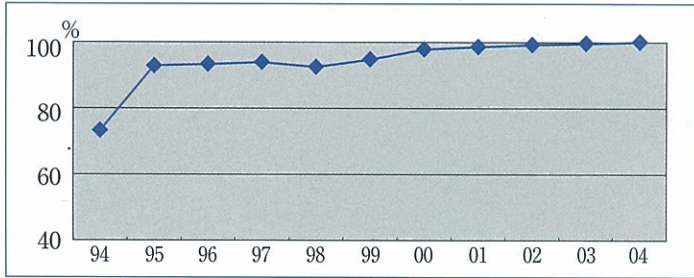
| | 2005年 | 2006年 | 2007年 |
|--------|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 省エネ | 原単位 前年度の1%減 高効率化の追求による省エネ | 原単位 前年度の1%減 太陽光発電システム導入 | 原単位 前年度の1%減 空調機管理システムの導入 |
| 廃棄物 | リサイクル率99.8%の安定化 納入品の梱包材の簡素化と持ち帰り | リサイクル率99.9% 廃棄物排出量の削減 | リサイクル率99.9%の安定化 廃棄物排出量の削減 |
| 汚染防止 | 汚染事故「0」件 危険個所の摘出と対策 | 汚染事故「0」件 危険個所の摘出と対策 | 汚染事故「0」件 危険個所の摘出と対策 |
| 化学物質 | PRTR・オゾン層破壊物質削減 オゾン層物質特定ハロンの削減 | PRTR・オゾン層破壊物質削減 オゾン層物質特定ハロンの全廃 | PRTR対象物質削減 PRTR法対象物質の削減 |
| グリーン調達 | 全調達品のグリーン購入 省エネ設備、製品への転換 | 全調達品のグリーン購入 省エネ設備、製品への転換 | 全調達品のグリーン購入 省エネ設備、製品への転換 |

この1年間の主な環境保全の取組み

| 分類 | 項目 | 目的・効果 |
|--------|---------------------|--------------------|
| 大気汚染防止 | ユニット1階ハロン消化設備の更新 | オゾン層破壊物質の削減(270kg) |
| | 5号組立一括洗浄室ハロン消化設備の更新 | オゾン層破壊物質の削減(140kg) |
| | 休憩所・厚生施設等のエアコン更新 | オゾン層破壊物質の削減(76kg) |
| | 吸収式冷温水機の煤煙測定(2回/年) | 定期測定による監視 |
| | 吸収式冷温水機の定期点検(2回/年) | メーカー定期点検による維持管理 |
| | 5号組立並径ライン排気ダクト設置 | ミスト回収 |
| 水質汚濁防止 | 水質定期測定(雨水・処理水)1回/月 | 定期測定による監視 |
| | 油水分離槽定期清掃(9箇所 2回/年) | 定期清掃による維持管理 |
| | 食堂オイルトラップ定期清掃(1回/月) | 定期清掃による維持管理 |
| 土壌汚染防止 | 水質定期測定(地下水)1回/年 | 定期測定による監視 |
| | 5号研削水ピットの2重構造化 | 漏洩時の土壌浸透防止 |

| 分類 | 項目 | 目的・効果 |
|----------------|-----------------------|--------------------------------|
| 省エネルギー 電力削減 | 5号研磨天井ファンモーターのインバーター化 | 省エネ制御 (C/D 250千円) |
| | 研磨機ドレスモーターの不要時停止 | 常時回転を必要時のみ稼働 (C/D 280千円) |
| | 1.2.5号空調ファンモーターの更新 | 高効率モーター採用による省エネ (C/D 256千円) |
| | 組立機油圧ポンプのインバーター化 | 省エネ制御 (C/D 420千円) |
| | 研磨機油圧ポンプのインバーター化 | 省エネ制御 (C/D 616千円) |
| 景観向上 緑化・美化 | 天井照明器具の更新(1A・5A・5G) | 高効率照明器具の採用 (C/D 192千円) |
| | 1号工場西面外壁塗装 正門花壇拡張 | 景観向上、耐久性 景観向上 |

廃棄物のリサイクル率推移



監視測定(水質・大気・騒音・振動)実績

水質

| 項目 | 規制値 | 自主基準値 | 実績 |
|------------|---------|---------|-----|
| PH | 6.0~8.5 | 6.3~8.0 | 7.3 |
| BOD(mg/l) | 70 | 25 | 3.5 |
| 浮遊物質(mg/l) | 90 | 30 | 2.5 |
| 油分(mg/l) | 5 | 4 | 0.6 |
| 窒素(mg/l) | 40 | 20 | 1.4 |
| リン(mg/l) | 2 | 1.8 | 0.8 |

大気

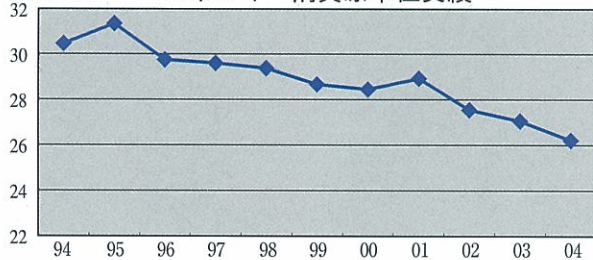
| 項目 | 煤煙発生施設 | 規制値 | 自主基準値 | 実績 |
|--------------------------|--------|--------|-------|--------|
| NOx(ppm) | ボイラー | 180 | 120 | 64 |
| | 金属加熱炉 | 該当設備なし | | |
| ばいじん(g/m ³ N) | ボイラー | 0.3 | 0.05 | 0.002 |
| | 金属加熱炉 | 該当設備なし | | |
| SOx(K値) | ボイラー | 8.76 | 5 | 0.01未満 |
| | 金属加熱炉 | 該当設備なし | | |

騒音・振動測定(敷地境界)

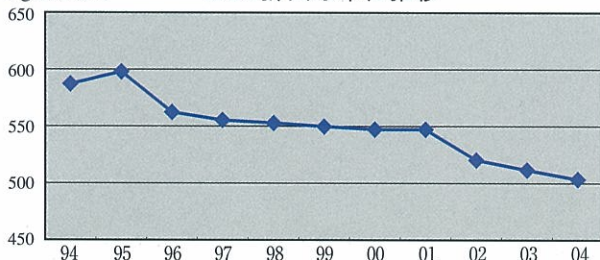
| 項目 | 時間帯 | 県基準値 | 自主基準値 | 測定値 |
|----|-------------|------|-------|-------|
| 騒音 | 6:00~8:00 | 65 | 60 | 52~55 |
| | 8:00~18:00 | 70 | 65 | 50~59 |
| | 18:00~22:00 | 70 | 65 | 52~58 |
| | 20:00~翌6:00 | 65 | 55 | 52~55 |
| 振動 | 8:00~20:00 | 65 | 60 | 30~40 |
| | 20:00~翌8:00 | 60 | 55 | 30~40 |

エネルギー消費原単位とCO2ガスの排出

エネルギー消費原単位実績



CO2排出原単位推移



一エネルギー消費・CO2排出原単位とは？

付加価値生産金額100万円に相当する製品を製造するため、どれだけエネルギーを消費したかと、CO2を排出したかを表し省エネ取組みの進捗を示す指標のひとつです。

一水質・大気汚染/騒音・振動防止一

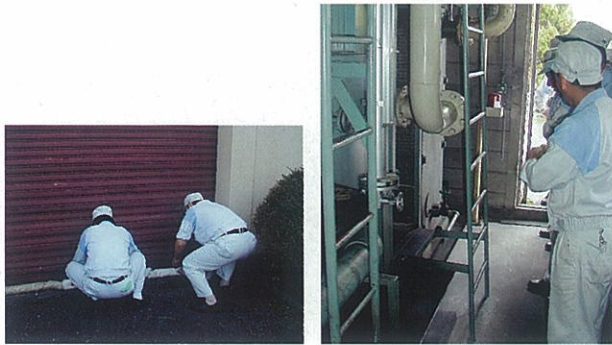
それぞれ監視・測定において規制値より更に厳しい自主基準値で管理しておりますが、2004年度の基準値超過はありませんでした。

環境訓練（油流出事故対応）

■盛越川へのオイルフェンス設置

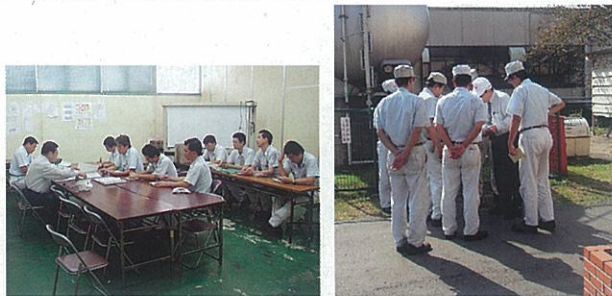


■一括洗浄ろ過室での訓練



環境ISOの推進

■外部審査機関の環境監査



外部審査機関の指摘事項 …軽微な不適合…指摘

平成16年6月28日に敷地境界での騒音測定が実施され、測定結果では異常なく遵法性が保たれているが、騒音計の校正の有効期限が平成16年10月31日であり期限切れであることから、その測定値の信用性が欠けていた。

花いっぱい活動



工場周辺クリーン活動

■琵琶湖岸の定期清掃



地域との共生

■オープンハウス(工場見学会)



■地域自治会への環境取組み説明会



環境保全と循環型社会の構築

■廃棄物処理委託先監査

廃プラスチック

↓
火力発電用燃料
セメント工場用燃料
原材料



廃油、廃グリス

↓
燃料



廃蛍光管

↓
蛍光粉(白色・3波長)
ガラスカレット
磁性金属・アルミ
ガラスくず・金属水銀



お問い合わせ先
日本精工株式会社 大津工場
総務労働課：077-537-1600



このパンフレットは再生紙を使用しています。

